

平成29年3月発行



幼児教育充実指針

「めぶく」～幼児の育ち～ への期待

前橋市教育委員会総合教育プラザ

館長 高木 威

幼児教育充実指針「めぶく」～幼児の育ち～（以下「めぶく」）が平成29年2月に完成しました。

この指針づくりのスタートは3年前に遡ります。当初は、「小・中・特別支援学校向けに作成された『まえばし学校教育充実指針』の幼児教育版をつくろう」との思いで、市内に4つある公立幼稚園の教職員を対象にした指針を目指していました。しかし、幼児教育の専門家や市福祉部、園所関係者、保護者など多くの方々のご意見をいただく中で、「せっかく作るのだから、前橋市全体の幼児教育関係者や保護者の方々が実際に手にとって活用できるものに！」と新たな方向性が見出され、本指針「めぶく」が誕生しました。

「めぶく」には、次のような特徴があります。

- すべての幼児に体験させたい5つの内容を取り上げるとともに、「なぜ大切なのか」を考えていただくための資料や解説を掲載しました。
- 幼児教育関係者だけでなく、保護者や地域の方々が子育てを振り返ったり大人の役割を考えたりすることができるように内容構成を工夫しました。
- 先生方の現場研修や保護者が集う「子育て井戸端会議」での活用例を紹介するとともに、実際に使える「話し合い用シート」等を添付しました。

内容の一端を紹介しますと、例えば「めぶきの1『外で遊ぶ』」では、外遊びをしたい幼児の思いや怪我などを心配する保護者の気持ちを表した吹き出しとともに「こんな子になって欲しい」という目指す子どもの姿を左ページにて投げかけています。そして右ページでは、外遊びの大切さを理解していただくための資料とともに園・所での指導のポイントを紹介しています。

「では、家庭では具体的に何をしたらいいの？」・・・。「めぶく」を手にとられた保護者の方からこんな感想が出されるかも知れません。実はそこに本冊子のねらいがあります。お父さんやお母さんをはじめ、幼児の周りにいるたくさんの方々に子育てを語っていただき、幼児の育ちへの思いを巡らしていただきたいのです。「めぶく」はそのきっかけとなる冊子を目指しています。

そうした願いを込め、表紙のサブタイトルを「子どもも大人も 育ち合うために」としました。

前橋市総合教育プラザ幼児教育センターでは、今後も前橋市の幼児教育の充実に向けた支援を全力で取り組んでいきたいと思っております。